

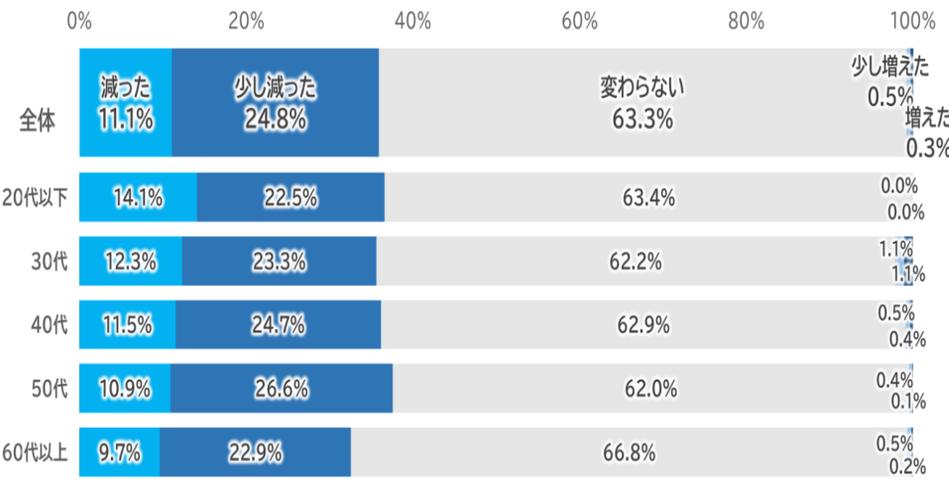
米価高騰で「米を食べる頻度が減った。」 35.9%

(3/13アンケート結果)

米を食べる頻度の変化

「減った」「減った」+「少し減った」の合計値)と回答した割合は35.9%にものぼった。

年代別でみると、「減った」のみの割合は20歳代以下が14.1%と最も多く、年代が上がるほど下がる傾向となったが、「少し減った」と合わせると50歳代が37.5%と最も多くなった。また「変わらない」の割合は、60歳代以上が66.8%と最も多かった。



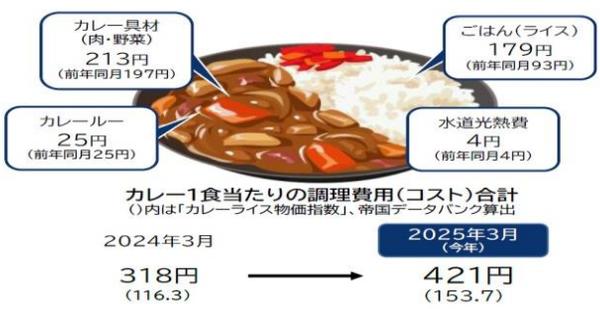
今週の玄米入荷情報

令和6年産

- ・新潟コシヒカリ黒川
- ・新潟佐渡コシヒカリ
- ・新潟岩船コシヒカリ
- ・福井コシヒカリ
- ・福井いちほまれ特裁
- ・福島会津コシヒカリHG
- ・福島中通コシヒカリ
- ・栃木コシヒカリ
- ・千葉ふさおとめ

また、米の購入で重視する点は、最も多かったのは「価格」の**78.7%**。次いで「品質(味・食感)」の53.0%、「産地」の34.6%、「ブランド・銘柄」の32.9%と続いた。年代別にみると、20歳代以下では「価格」を重視する人が84.5%と最も多く、加えて「産地」「安全性(無農薬・減農など)」「調理のしやすさ(無洗米)」も他の年代より高い割合を示した。一方で「品質(味・食感)」は50歳代が56.1%と最も高く、「ブランド・銘柄」は60歳代以上が37.8%と、年齢が上がるにつれて品質やブランドへの関心が強まる傾向がみられた。

カレーライス物価を構成する費用 内訳



カレーライス1食あたりの費用は前月から+14円で「**421円**」。

12か月連続で最高値を更新した。1年前と比べると+103円(32.4%)の値上。

このカレーライス物価は、家庭における標準的なレシピを基に、食材費や水道光熱費を加味して算出されたもの。

このうち、「ごはん(ライス)」価格は179円(前年同月から+86円)となり、全体の値上りを大きく牽引している存在。